

令和3年度 児童発達支援保護者評価アンケート結果を受けて

ところ園

日頃より、ところ園の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

そして、ご多忙の中、今年度もアンケートにご回答いただきありがとうございます。この機会を貴重なものとし、振り返りを行い、気づいた点をプラン立てすることで次の一歩を踏み出す実行力とさせていただきます。

この「アンケート結果を受けて」では、皆様からご回答いただきましたことについて、ご説明や今後の取り組み案を述べさせていただきます。

※アンケート結果と見合わせてご覧ください。

「アンケート結果」と、こちらの「アンケート結果を受けて」は HP に掲載させていただきます。例年ですと紙ベースでの配布は希望者のみという形でしたが、今年度は『ところ園の移転』についてのお話もありますので、皆様へ印刷したものを配布させていただきます。

【ご説明・今後の取り組み案】

➤ 設問1, 3, 4について

「階段の横幅が狭い、急である」「部屋が狭い」「オムツを変えるスペースがない、オムツ変えマットがない」「移転先に期待」などのご意見をいただきました。

毎年、書かせていただいていることかもしれませんが、おっしゃる通りと考えております。こういったご意見や私たちの経験から、移転を考え計画してまいりました。階段の幅は一般住宅以上の幅へ、階段の段数も緩やかになるよう設計、子どもが指を挟んでしまわぬよう扉は引き戸へ、着替えも含め尊厳を尊重できるようトイレスペースを広く、採光のため窓は必須だが転落防止のパイプを設置、水遊びや泥遊びの際には日を避けて身体を洗うことや着替えができるよう日よけのある土間を設置、お昼寝時には遊戯室を職員が通ることがなるべく少なくなるよう事務室から直接廊下へ出られる設計に、個別セッションがより効果的に行えるよう部屋数を多く設けるなど、子どもたちの近い将来へたくさんの夢が詰まったところ園を目指しております。

ここで一つ皆様へごお知らせさせていただきます。新型コロナウイルスは建築資材や住宅設備にも影響を及ぼしていました。ウッドショックと呼ばれる材木の高騰、ベトナムのロックダウンによるリクシル等の工場閉鎖に伴う在庫切れなど、いろいろな面で難しさが出てしまい、一時中断を余儀なくされました。

コロナの落ち着きによりようやく少しずつ商品が出てきており、状況緩和の流れが出

てきております。未だ高騰している商品や、これから高騰する商品があると言われる中のため、工期の決定ができていない現状ではありますが、この事態を受け、半年近く遅れてしまうことをここにご報告いたします。

もちろん工期が確定し、認可を受けられる月の目処が立ちましたらお知らせをさせていただきますが、現段階では9月もしくは10月を目標に進めておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

オムツ替えマットについて完全に抜けておりました。衛生面を考え用いて参ります。

➤ 設問8について

月間活動プログラム予定のようなものをお出しできず申し訳ございません。4月から「事前の予定配布」について考えてはきましたが、とこころ園の体制（6時間療育に前後送迎）での前もっての予定立てが間に合っておらず、翌週の活動計画を立てている状況です。

今後も「私たちにできる形」を模索し続け努めて参ります。

➤ 設問9について

「保育園やこども園さんなどとの交流はあるのか？」というご意見をいただきました。保育園等への移行を順序だてて計画するとき、まずは園庭開放で経験を積み、その後、交流保育の機会をいただき、時を見て保育園等入園により並行通園から始め、子どもの状況を見て全日保育への移行という流れを組ませていただいております。

しかし、今回のアンケートを受け「保育移行を計画立てていなくても、園庭開放に参加させていただき、地域との交流を深めることができるのではないか？」というアイデアが生まれました。もちろん、保育園さんの事情もあるため、とこころ園の一存で決めることは難しい話ではありますが、地域に働きかけ、新たな関わりを生むことができれば素敵なことだなと考えます。

アイデア段階ですので、実現するかどうかは分かりませんが、また一つ楽しい取り組みができるよう努めていきたいと思っております。

➤ 設問13について

「研修会に参加していなくても資料の配布やトレーニング内容を教えてもらえると嬉しい」というご意見をいただきました。

研修を企画し参加者を集って行っているため、皆様にお配りすることは難しいかもし

れませんが、「参加予定であったが出席できなくなった」という方で資料を希望される方はお声掛けいただきたく思います。

トレーニング内容をという件につきましては、同じ題目で6日間の開催をさせていただいております。参加日決定通知が出た後も変更は可能となりますので、ご都合が変わられた際はぜひ振り替えをご希望ください。

➤ 設問15について

「親の会のことが分からない」というご意見をいただきました。

親の会の活動については月間園だよりにて、ほんのちょっとの情報量ですがトピックを設けさせていただいております。

また、ちょっとした親の会活動のご紹介を配布させていただきましたので見てみてください。

➤ 設問17について

「専門的目線から障害特性のお話が聞けると嬉しい」というご意見をいただきました。帳面ではその形状上、その日の姿を簡素化して書かせていただいております。

子育て相談を別紙（付箋などの）お手紙で頂戴し、お返事を書かせていただいております。何かご質問や困り、「この行動って何?」「こんなときどうすればいい?」などがありましたら、アイデアとしてお話させていただいたり、一緒に考えさせていただいたら嬉しく思います。

➤ 設問20について

「コロナの件で少々心配もあったが、その後いろいろな改善が見られた」というご意見をいただきました。その節は大変なご迷惑とご心配をおかけしましたこと、改めてお詫び申し上げます。皆様のご理解とご協力を賜り、安全に過ごすことができおります。

その後の新たな取り組みとしては、職員が持ち込んでしまうことがないように努めるため、職員一人ひとりに抗原検査キットを配布し、体調が悪い際は自宅にて検査を行いPCRへスムーズに繋げる取り組みも行っております。

➤ 設問22について

「たまに他の子のタオルが入っていたり、他の子の服を着て帰って来るがあった」

「給食がコンビニのことがあり、栄養面や添加物が気になる」というご意見をいただきました。

荷物が紛れてしまうことがどうしても起こってしまい誠に申し訳ございません。現代の衛星観点から言いましても、必ず防がなければならない問題であると感じます。

まずは口に入れる歯磨きについて考え、子どもが触れられる高さでの管理をやめ、子どもが身支度は自分で行うことは残しつつ、支度後に職員が高い所に移させていただくという対応を取り入れました。名前の記載がない方へ記名のお願いをさせていただいたところであります。

間違っ持ち帰ってしまう原因には職員のミスが大きくあります。一つひとつミスのないようリスクマネジメントを行い、防止に努めて参ります。

皆様には服やタオル、靴など、とこころ園に持ち込むもの全てに記名のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

毎月全てのお子様を対象になるよう「お楽しみ給食デイ」を取り入れさせていただいております。そのお楽しみも色々なものが登場するようカップラーメンなんてことも行いました。

お楽しみ給食デイでもコンビニの活用がある中、ピクニックや少し遠いお出かけとなれば出かけ先で昼食を摂るという事情から、お出かけ活動の際もコンビニが入ってきます。お出かけ時の対応はコンビニになってしまうことが多いかもしれませんが、お楽しみ給食でコンビニになることを減らすことや、みんな大好きなおにぎりは添加物を使う量が少ないコンビニや商品を選ぶなどの対応を取らせていただきたいと思います（セブンイレブンの鮭おにぎりが添加物最少だそうです）。

今年度もたくさんの励ましの言葉、気づきを与えてくださる言葉をいただきありがとうございます♪

ひとつひとつ、小さな一歩ずつという成長ではありますが、今後も温かく見守っていただけますと幸いです(^_^)♪

とこころ園 職員一同より